



System and Organization Controls (SOC) 3 Report

LINE メッセンジャーサービスに係るセキュリティ、可用性、処理のインテグリティ、
機密保持及びプライバシーに関する独立受託会社監査人の報告書

2020 年 1 月 1 日から 2020 年 12 月 31 日まで



Ernst & Young Han Young

Taeyoung Bldg.,

111, Yeouigongwon-ro

Yeongdeungpo-gu, Seoul,

Seoul 07241 Korea

※ Ernst & Young Han Young is the global network firm of Ernst

& Young

Tel: +82 2 3787 6600

Fax: +82 2 3787 4671

ey.com/kr

独立受託会社監査人の保証報告書

LINE 株式会社御中

範囲

当監査法人は、2020 年 1 月 1 日から 2020 年 12 月 31 日までの期間にわたり LINE 株式会社（以下、「受託会社」という。）の「LINE メッセンジャーサービスのシステムの記述書」（以下、「記述書」という。）、及びその記述書に記載された米国公認会計士協会の TSP Section 100 2017 Trust Services Criteria for Security, Availability, Processing Integrity, Confidentiality, and Privacy（以下、「Trust サービス規準」という。）に基づいて、受託会社のサービスコミットメント及びシステム要求事項を充足している合理的な保証を提供する内部統制のデザインの適切性及び運用状況の有効性について報告する業務を実施した。

記述書には、Trust サービス規準に基づいて、記述書に記載された受託会社のサービスコミットメント及びシステム要求事項は、受託会社の内部統制とともに、受託会社の内部統制のデザインにおいて想定された委託会社の相補的な内部統制が適切にデザインされ、有効に運用されている場合のみ、充足される旨が記載されている。当監査法人の手続は、委託会社の相補的な内部統制にまで及ぶものではない。また、当監査法人は、委託会社の相補的な内部統制のデザインの適切性及び運用状況の有効性を評価していない。

受託会社の責任

受託会社の責任は、記述書を作成し、記述書が対象とする業務を提供し、適用される規準を選択し、受託会社のサービスコミットメント及びシステム要求事項を充足している合理的な保証を提供する内部統制を記述書に記載し、受託会社のサービスコミットメント及びシステム要求事項の充足を脅かすリスクを特定し、受託会社のサービスコミットメント及びシステム要求事項を充足している合理的な保証を提供するための内部統制をデザインし、業務へ適用し、更に有効に運用することにある。

- LINE メッセンジャーサービスシステムの識別およびシステム環境に対する記述
- LINE が提供するサービスコミットメント及びシステム要求事項また、サービスおよびシステム要求事項の目標充足に脅威となるリスクの識別
- サービスおよびシステム要求事項の充足に脅威となる様々なリスクを緩和するために LINE メッセンジャーサービスシステムと関連した有効な内部統制の識別、デザイン、構築、運用とモニタリング

受託会社監査人の責任

当監査法人の責任は、実施した手続に基づき、記述書及び当該記述書に記載されたサービスコミットメント及びシステム要求事項に関連する内部統制のデザインの適切性と運用状況の有効性に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、米国公認会計士協会により定められた認証基準に準拠して業務を実施した。当該基準は、当監査法人に、全ての重要な点において、記述書が適正に表示されているかどうか、及び適用される規準に基づいて受託会社のサービスコミットメント及びシステム要求事項を充足する内部統制が適切にデザインされ、有効に運用されているかどうかについて合理的な保証を得るための手続を計画し実施することを求めている。

受託会社のシステムに関する記述書の表示の適正性、内部統制のデザインの適切性及び運用状況の有効性について報告する保証業務においては、受託会社のシステムに関する記述書の表示の適正性及び内部統制のデザインの適切性と運用状況の有効性について証拠を入手するための手続が実施される。

手続は、受託会社監査人の判断により、記述書が適正に表示されていないリスク、及び内部統制が適切にデザインされていない又は有効に運用されていないリスクの評価に基づいて選択及び適用される。

当監査法人の実施した手続には、記述書に記載されたサービスコミットメント及びシステム要求事項を充足するという合理的な保証を得るために必要と考える内部統制の運用評価手続が含まれている。また、この保証業務には、記述書の全体的な表示の適正性を評価することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な証拠を得たと判断している。

当監査法人の実施した手続には、LINE のサイバーセキュリティリスク管理プログラムを評価する目的として実施されていないため、サイバーセキュリティリスク管理プログラムに対する意見または保証は提供しない。

受託会社の内部統制の限界

記述書は、広範囲の報告書の利用者に共通するニーズを満たすために作成されている。したがって、記述書には、個々の利用者がその特定の環境において重要と考える受託会社のシステムの全ての側面が含まれているわけではない。

また、受託会社の内部統制は、内部統制の性質及び固有の限界により、必ずしも Trust サービス規準に基づいてサービスコミットメント及びシステム要求事項を充足し、合理的な保証を提供するように運用されない可能性がある。

さらに、内部統制のデザインの適切性及び運用状況の有効性の評価に基づき将来を予測することには、受託会社の内部統制が不適切になる又は機能しなくなるというリスクが伴う。

意見

当監査法人の意見は次のとおりである。

- 1) 記述書は、対象期間にわたってデザインされ業務に適用されている LINE メッセンジャーサービスシステムを、全ての重要な点において適正に表示している。
- 2) 記述書に記載された Trust サービス規準に基づいて受託会社のサービスコミットメント及びシステム要求事項を充足している合理的な保証を提供する受託会社の内部統制は、その内部統制が有効に運用されていれば、2020 年 1 月 1 日から 2020 年 12 月 31 日までの期間にわたって、全ての重要な点において適切にデザインされている。
- 3) 記述書に記載された Trust サービス規準に基づいて受託会社のサービスコミットメント及びシステム要求事項を充足するという合理的な保証を提供する受託会社の内部統制は、2020 年 1 月 1 日から 2020 年 12 月 31 日までの期間にわたって、全ての重要な点において有効に運用されている。

Ernst & Young KPMG

2021 年 8 月 31 日

Trust サービス規準の
セキュリティ、可用性、処理のインテグリティ、機密保持およびプライバシーに関連した
LINE メッセンジャーサービスの有効な内部統制に関する経営者の主張

2021 年 8 月 31 日

LINE 株式会社（以下、「当社」という。）は、以下について責任があることを承知しております。

- LINE メッセンジャーサービスに対する記述書に含まれている LINE メッセンジャーサービスシステム（以下、「システム」という。）の識別および関連システム環境に対する記述
- サービスコミットメント及びシステム要求事項の識別
- サービスコミットメント及びシステム要求事項の目標達成に脅威となり得るリスクの識別
- サービスコミットメント及びシステム要求事項の充足に脅威となるリスクを緩和するために LINE メッセンジャーサービスに関する有効な内部統制の識別、デザイン、適用、運用及びモニタリング
- 主張の根拠となる Trust サービス分類および関連項目の選択

当社は、2020 年 1 月 1 日から 2020 年 12 月 31 日までの期間にわたって、LINE メッセンジャーサービスシステムに関する内部統制が有効であり、Trust サービス規準に基づいて当社のサービスコミットメント及びシステム要求事項を充足している合理的な保証を提供すると主張します。

LINE 株式会社



Takeshi Idezawa, Representative Director

LINE

LINE 株式会社の LINE メッセンジャーサービスに対する記述書

組織の概要

LINE 株式会社（以下、「当社」という。）は、モバイルメッセンジャーLINE をサービスするインターネットサービス企業である。

当社のサービスは、一般的にスマートフォンアプリケーションおよびPC 版ソフトウェアを通じて提供される。このようなサービスを提供するために、多様な IT システムとセキュリティ設備、独自に開発したサービス管理システムを使用している。本システム記述書に含まれるサービスは以下の通りである。

- LINE メッセンジャー

LINE の代表サービスとして、1 対 1 トーク、グループトーク、無料通話（音声通話、ビデオ通話）、画像および動画の共有などの機能をモバイル、PC で提供している。

報告書の適用範囲

本報告書の適用範囲は、LINE メッセンジャーサービスに限定され、その他サービスは含まれない。

インフラストラクチャー

サービスを提供するための必要なインフラストラクチャー設備は、東京豊洲 IDC にて管理している。当社は、各データセンターの物理的に分離された独立的な区画にインフラストラクチャー設備を設置し、別途物理的アクセスの統制を適用している。当該区画に設置されているサーバーのオペレーティングシステム、データベース、ネットワーク、IT セキュリティ設備及び関連ログを含む当該インフラストラクチャーは、当社が管理している。

ソフトウェア

当社は、サービスを提供するために必要なアプリケーションおよびそれをサポートする IT システムソフトウェア（運用システム、ミドルウェア、ユーティリティ）を開発・運用している。

人員

当社のセキュリティ部門、IT 運用部門、開発部門、及び関連要員がサービスを提供している。

プロセス

当社は、サービスを提供するために必要な IT システムのセキュリティ、可用性、処理のインテグリティ、機密保持及びプライバシー保護を確保するために全社レベルおよび関連部署別のポリシーおよび指針を策定している。当該ポリシーおよび指針は、当社のグループウェアを通じて共有しており、役員および職員の情報セキュリティ意識を維持・向上させるために内部・外部監査および関連教育を実施している。

The LINE logo, consisting of the word "LINE" in a bold, green, sans-serif font.

データ

利用者のデータは、関係法令、サービス利用規約、及び当社の情報セキュリティ規程に基づいて保護している。

LINE

主なサービスコミットメント及びシステム要求事項

LINE 株式会社（以下、「当社」という。）は、システムに対する自社サービスの責任を充足するためのプロセスを設計する。このような責任は、当社が顧客に提供するサービスコミットメントおよびシステムを管理する管轄国家の法規制及びサービスのために確立した財務、運用及び規程要件に基づいている。LINE メッセンジャーサービスは、関連規程のみならず、LINE メッセンジャーサービスを利用する国家の個人情報保護および情報セキュリティに関する法規制を遵守する。

顧客に対するセキュリティ、可用性、機密保持、処理のインテグリティ及びプライバシーは、約款およびウェブサイトに記載されているサービスに関する説明として文書化及び顧客が確認できるようにしている。セキュリティ、可用性、機密保持、処理のインテグリティ及びプライバシーに関する事項は以下のように明示されているが、その限りではない。

- LINE メッセンジャーの基本設計に含まれたセキュリティ及び機密性に関する原則は、データに対する内部・外部からの不正アクセスを適切に制限されるように設計されており、顧客データは他の顧客から適切に分離されている。
- LINE システムの基本設計に内製されたセキュリティ及び機密性に関する原則はサービスの責務を遵守できるように顧客のコンテンツを保存する環境の内部・外部からデータが保護されるように設定されている。
- LINE システムの基本設計に含まれた可用性に関する原則は、様々な可用性の領域にわたり、重要なシステム構成要素を同期した多重の要素で構成されており、関連データのバックアップに関する事項は、サービスを維持できるように定められており、可用性のモニタリングを実施している。
- LINE システムの基本設計に含まれた処理のインテグリティに関する原則は、安全なシステムの開発及び運用活動に対してシステムの情報を完全かつ正確、適時に処理できるように関連プロセスを策定し、レビュー活動を実施している。
- LINE システムの基本設計に含まれたプライバシー保護に関する原則は、関連法規制および利用者の権利保護を充足できるように、関連政策はプロセスを策定し、それに沿って利用者のデータを取扱っており、関連政策の変更等の事項に対して事前に利用者に告知し、利用者の権利を保護している。

当社はセキュリティ、可用性、機密保持、処理のインテグリティ及びプライバシーに関する法規制及びその他システム要求事項を達成するために運用要求事項を確立している。このような必須要件は、LINE のシステムポリシー及びプロセス、サービス紹介及び約款に明示されている。情報セキュリティポリシーは、システム及びデータ保護に関する全社的な方向性を定義している。

情報セキュリティ政策には、サービスデザイン及び開発方法、システム運用方法、内部ビジネスシステム及び採用活動、教育方法に対するポリシーが含まれている。

上記のポリシー以外にも、LINE システムの開発及び運用に必要な手動または自動化されたプロセスを実施する方法に対する標準の運用プロセスが文書化されている。

The LINE logo, consisting of the word "LINE" in a bold, green, sans-serif font.